

## (19) はぼたん

### ア 各病害虫の防除

アブラムシ類

ハマキムシ類

ヨトウムシ類

アオムシ

コナガ

## ア 各病害虫の防除

### 【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

### アブラムシ類

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。
- 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。
- 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。
- 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項](#)を参照する。
- 3 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。

### ハマキムシ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。

### ヨトウムシ類

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 交信かく乱剤を活用する。
- 2 若齢幼虫期のうちに、薬剤を施用（散布）する。

### アオムシ

---

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 若齢幼虫期のうちに、薬剤を施用（散布）する。

### コナガ

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 施設では、開口部に防虫網を設置して成虫の侵入を防止する。本種に対しては、1mm×1mmの目合いで効果が高い。
- 2 交信かく乱剤を活用した防除を行う。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 交信かく乱剤を活用する。
- 2 BT剤を散布する。
- 3 若齢幼虫期のうちに、薬剤を施用（散布）する。
- 4 本種は薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避け、数群でのローテーション散布を行う。なお、既に抵抗性の発達している薬剤も認められるが、その程度は地域により差があるため、実際の使用状況から推測して薬剤を選択する。